

生徒さんのちょっといい話

ここではセミナーでの生徒さんからの話を紹介しています。

〈さいたま市Iさん 40代女性〉

「モノを捨てるのが苦手で、ソファの上にもモノがあり、座ることもできません。講座で、「自分の暮らしへの思いよりモノの方を大切にしていたのでは?」と言われて「納得!」でした。頑張ります。

〈越谷市Fさん 50代女性〉

「もらいモノや勢いで買ったモノを一度も使わないで捨てることに抵抗がありましたが、〈使う〉事以外にもモノの役目があると知り、手放す時のいいヒントになり、罪悪感が少しなくなりました。」

モノに対する考え方が変わってきたおふたりに拍手です👏

朱夏と日和

～ひとりごと片づけ日記～



周期的にコミック本に、はまってしまう。若い時と違い、大人買いができるのも魅力であるけど、一気に本が増えるのも気になる。なので、できるだけ電子書籍で買う様にしている。



と言いつつも、本を開いて両手で持ち、読みながら右手と左手に感じるページの厚さで物語の時間軸を感じる心地良さも好きなので紙の書籍を買うこともある。

学習雑誌以外でのコミックとの出会いは、中二の時である。その夏、少女コミックの存在を知り、読んで大感動。

その様子に驚いたクラスメートのYさんが「ウチにたくさんあるから読みにおいでよ」と誘ってくれた。早速お邪魔すると、そこは、おばあちゃん、お母さん、四姉妹(Yさんは三女)、猫(♀)、そして、ただ一人の男性のお父さんというお宅。

案内された部屋には、大工さんのお父さんが作った天井まで壁一面の棚に四姉妹が買って来た本がど〜んと並んでいた。おおっ!

当時の人気少女コミック「マーガレット」「フレンド」「コミック」はもちろん「リボン」「ちゃお」などが週刊、月刊、単行本別に発行号順に見事に収まっていた。過去5年分はあったと思う。

出してもらったおやつも食べず、せっせとひたすら読んだ。この大きな収納棚のおかげで読みたい号をすぐ取り出せて、また、戻す時にも迷いがなく戻せた。今思うと、このことで本を探す時間の無駄がなかったのも楽しめた理由のひとつかも。

今でも鮮明に思い出せるあの圧巻の収納。衝撃的だった〜。昔話をしたら、Yさんに会いたくなっちゃったわ。元気かな〜🐱

整理収納 Q & A

・Q 何かに刺激されて、片づけを始めますが、毎回気持ちが続くのはせいぜい2日くらいで、あとは片づけをやめてしまいます。

・A 片づけが始まっても目標がないと、ゴールが見えず、疲れてしまい、中途半端なまま片づけが中断してしまいます。

まず、小さいエリアで「この場所を使いやすくする」、「この引き出しを整理する」などの目標を決めます。達成するまでを一区切りにしてみてください。

それができたら次の目標を決めていきます。一気に取り組まなくて、時間に余裕を持ち、一か所ずつ目標をクリアしながら進んでいくことが、片づけが続いていくコツです。

収納のコツ

モノがどこにどのくらいあるのかを簡単に知るために「見える化」があります。それを意識した収納の工夫のひとつがモノを立てて収納することです。

引き出しの中などは、モノを重ねて収納してしまうと、下になったモノが見えないため、探してしまったり存在を忘れてしまいがちです。

立てて収納してあることにより、一目でモノの存在を確認することができます。

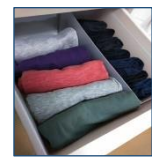
また、立てる収納は下のモノを取り出す時に上のモノをどかさず手間がかからないので動作数が減ります。

モノを出す時の動作数の少なさは、モノを戻す時の面倒をも軽減しますので、モノが定位置に戻りやすく、出しっぱなしによる散らかりがなくなる利点も生まれます。

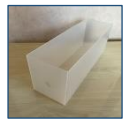


グッズの紹介

立てる収納に役立つ便利グッズ



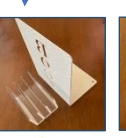
引き出し内にファイルボックス(右端)



冷蔵庫では上部を折り返した紙袋



ケースの内のブックスタンド小物用スタンド仕切り板



理系夫の
みるみる片づく! 整理収納術
本の紹介

片づけたい思いは十分あるのだけど、漫画家の著者は大の片づけ苦手さん。そこで、理系夫が片づけを勉強して、理系脳で妻に片づけ方をアドバイス。だんだんと家が片づいていく様子がよくわかるコミック本です。
著者: くぼこまき 定価: 1,300円(税別)
ブログでも本の紹介をしています
朱夏と LIFE のお片づけ日記→<https://ameblo.jp/shukalife/>

講座のご案内

○資格認定講座
〈整理収納アドバイザー2級認定講座〉※毎月開催
(会場開催) 春日部市民文化会館会議室 9:30~16:30
(オンライン) ZOOM 講座(夜間2日間×3時間) 19:00~21:00

○定期講座〈片づけ講座〉
毎月第2木曜日 10:30~12:00 コープカルチャー富士見
毎月第1水曜日 10:00~11:30 コープカルチャー春日部

○春日部市教養講座おしゃべりカフェ〈片づけの始め方〉
5/19 6/16(全2回) 10:00~12:00 中央公民館

○学び舎で学ぶ一般向け講座〈基本の片づけ〉
4/30 5/26 無印良品東武動物園駅前店

○男女共同参画支援講座 〈効率よく片づけを進めよう〉
5/22 14:00~16:00 ハーモニー春日部

○春の短期講座〈春のクローゼット整理〉
4/22 5/6 5/20 コープカルチャー春日部
4/14 5/12 6/9 コープカルチャー富士見

講座の詳細は朱夏らしいの HP をご覧ください

「自分が使う?」ってどういうこと?

モノの処分の判断基準の一つです。「自分が使う?使わない?」と聞いてみるということです。一般的には「モノがまだ使える?使えない?」が判断基準になりやすく、そこで判断すると片づけが進みません。中心に考えるのは<モノ>ではなく<自分>です。



「自分がこれを使うかな?」を基準に考えるクセをつけると処分の対象が決まりやすくなります。